

## 81 漁場環境保全・技術開発・普及推進

【1, 570 (1, 626) 百万円】

### 対策のポイント

- ・トド等の有害生物による漁業被害対策、有明海等における漁場環境の改善策の検討、藻場・干潟の造成等の推進を支援します。
- ・水産業の省エネルギー・低コスト化に資する新技術の実証を支援します。
- ・国の重要施策の現場展開や新たな技術・知識の導入による漁家経営改善等を、国と道府県との協同事業である水産業普及改良事業により推進します。

### <背景／課題>

- ・我が国周辺水域の漁場環境は、トド、大型クラゲ等の有害生物や赤潮の出現等で悪化しており、国として、有害生物等による漁業被害の防止、漁場造成技術の開発、赤潮・貧酸素水塊の発生対策等を推進していくことが必要です。
- ・漁船漁業は化石燃料への依存が大きいことから、省エネ・低コスト化に対応する技術の実用化が喫緊の課題となっています。

### 政策目標

- トド等の有害生物による漁業被害の抑制（トドによる漁具被害を平成24年度被害額（5億3千万円）以下に抑制）
- 水産業における10%以上の省エネ・低コストを実現する新技術の実用化
- 毎年2,000人の新規漁業就業者の確保

### <主な内容>

#### 1. 有害生物漁業被害防止総合対策事業 504 (504) 百万円

トド等による食害や漁具被害の発生防止・軽減を図るための対策（休業者も含めた漁業者による追い払い、駆除、陸上処理、漁具の改良等）、オットセイ対策に必要なデータ収集（出現個体数等）、日中韓による大型クラゲ国際共同調査等を総合的に行うことを支援します。

（補助率：定額、1／2以内  
事業実施主体：民間団体等）

#### 2. 漁場環境・生物多様性保全総合対策事業 454 (625) 百万円

漁場環境や生物多様性を保全していくために必要な漁場造成技術の開発、赤潮・貧酸素水塊の発生対策、生物多様性の保全及び持続可能な漁業の実現など各般の対策を推進します。

（委託費、補助率：定額  
委託先、事業実施主体：民間団体等）

#### 3. 漁船等環境保全・安全推進技術開発事業 111 (29) 百万円

漁船漁業や養殖業等の省エネルギー・低コスト化に資する新技術の実証、漁船の安全性向上のための技術開発（船首浮上抑制システム等）を支援します。

（水産業の省エネ・低コスト新技術導入加速化事業 [新規] 61 (－) 百万円  
安全性向上漁船等設計・開発事業 [新規] 50 (－) 百万円  
委託費、補助率：定額、1／2以内  
委託先、事業実施主体：民間団体等）

4. 有明・八代海の漁業・養殖業の効率化のための技術開発事業 [新規]

39 (一) 百万円

有明海の漁場生産力の向上を図るため、ノリの色落ち・赤潮の原因となる有害プランクトンやアサリ資源に壊滅的な影響を与えているホトトギス貝の発生、分布状況を解析する手法を開発します。

〔 委託費  
委託先：民間団体等 〕

5. 水産業改良普及事業交付金

69 (69) 百万円

水産に関する様々な施策や技術開発の成果等を水産業普及指導員が漁業現場に普及し、沿岸漁業の生産性の向上や漁家経営の改善等を図ります。

〔 補助率：定額  
事業実施主体：道府県 〕

〔 お問い合わせ先：  
1、2の事業 水産庁漁場資源課 (03-3502-8486)  
3、4、5の事業 水産庁研究指導課 (03-3501-3864) 〕